



発行所 警城日日新聞社 福島縣小名浜町清通51 電話代表387番 編集人 長瀬壽一 発行人 長瀬壽一

綱領 ◎紙面を広く讀者の論議に開放し、社会の意志を擁護する ◎一旦掲載した問題に關しては如何なる反論をも拒まず、これを尊重する 警城日日新聞社

赤字財源を何處に

小名議會で事業費處置を協議

小名浜町議会は十九日午前九時より町役場會議室に協議會を開き合併に伴う二十八年度事業費財源處置について協議を重ねた。協議會は先づ總務副委員長小林議員から十八日開かれた總務、土木合同委員會に於ける新日本化學社建設敷地一万三千坪(舊日立製作所敷地)の埋立工事、救護土木事業についての審議経過が報告され、飯塚議員は特別發言を求めて去る七千八百坪の無断使用問題をとりあげ緊急質問を行ったが、立花町長は次の様な答辯を行った。

賛成 リコールに發展か

磐崎で合併反對運動猛烈

十七日の町議會議で磐崎市常務市などの市制が可決され、来る三十一日より石城郡に二つの市が誕生することになったが、湯本町に編入合併をした磐崎村には、湯本町合併反對運動が激しく、現れ村議會議を催し、岩ヶ岡、馬屋、白鳥、岩ヶ岡などの六部落、合併反對運動を呼びかけた。合併反對派の一部は、合併反対本部を設け、湯本町合併に依つて生ずる農地の犠牲は磐崎村等六項を以て、合併反対陳情書を作成し、三月十日正式に湯本町に提出した。

鹿島三部落政争の考察

何故鹿島三部落が政争の具に供されたかと言ふ理由は一應うなずけるがそれから波及する政治問題はまだ、底の深いものがある。先ず第一に炭礦であるが、湯本の他の一切の炭礦は湯本が常磐炭礦従業員四千八百人の収入とそれ隨する産業によつて成立して

天気予報 20

魚菜市況 19

(小名浜中央魚菜市場) 卵(一)一〇〇〇、たまご(一)一〇〇〇、たまご(二)一〇〇〇、たまご(三)一〇〇〇、たまご(四)一〇〇〇、たまご(五)一〇〇〇、たまご(六)一〇〇〇、たまご(七)一〇〇〇、たまご(八)一〇〇〇、たまご(九)一〇〇〇、たまご(一〇)一〇〇〇

大和田ミシン商会 月払2,000円ヨリ 御相談に應じます 御用下さい 小名浜町西町 電話七九〇番

草野医院 一般外科 内科 性病科 泌尿科 皮膚科 放線科 (入院隨意) 院長 草野道平 院址 小名浜町北台 電話二六八

外務社員 男女年令不問希望者は 履歴書持参の事 本社業務部

20日、23日 同時上映 絶対誇り得る2本立 東映特別大業番組 血闘り正義の股旅時代劇 道中男血祭 市川右太衛門日高澄子 一九五三年最新作コロムビア映畫 総色 零下の地獄 群像を粉砕する戀と死闘の海洋活劇

工員募集 植字工、印刷工(経験者) 小名浜町 長瀬印刷KK

石井醫院 小名浜町本町七丁目 電話四七二 入院隨意 外科 性病科 泌尿科 レントゲン科

飯塚ミシン商会 營業所 小名浜町北台 電話二六八 工場 小名浜町北台 電話二六八

福助ミシン 日産 芝浦ミシン 現金月賦販賣 外五種類

活人 柳田病院 診療科目 外科、整形外科 内科、産科 婦人科、レントゲン科 健康保険、労災保険、生活保護法 結核療養法、衛生保護法指定医 新設 泉 舊藩診療所 泉町大字泉字泉二〇一 電話二四番

矢吹町長に功勞賞

湯本の財産區制四十周年

湯本町では湯本財産區制施行四十周年にあたるのを、来る二十七日湯本町公民館に於いて午後一時より區制施行四十周年記念祝賀式典を盛大に行う事になった。

なほ全区民(大字關船、水野谷を除く)には名入手拭一本ずつ配付を計る。

湯本の功勞者を表彰する功勞表彰者は次の通り
小野英次郎、鯉岡源、渡辺一彌、鯉岡一馬、比佐芳、御代富彌、矢吹莊司、内山吉五郎、仲里勝利、江尻長兵衛、村上泰、松原末吉、高橋勇五郎、西原末吉

長が来席、貯金目標の作製などについて打合せを行。

雄を競い辯論會

泉町公民館主催の辯論大会は十九日午後六時三十分から同公民館に町内青年多数が参加、町長賞、警務日新聞社賞を目標としての大辯論が期待されているが、同公民館では今後ともこうした催しを行い青年層の公正な自主的政治批判、社会生活の向上を計りたいと熱願している。

予定されている演説者及び演題は次の通り
▼新聞は私達のものである
▼秋山かほる
▼幸福への道
▼水野順平
▼己を裸にせよ
▼柴田定吉

他に上遠野賢爾、高木亭、阿部カッ
以上六君が日頃の雄辯を競い、泉町青年会の意氣を示めようと大變な張り切り方である。

郡南局長會

廿三日植田で
石城郡南部(十六局)の局長會は来る二十三日午前九時三十分より植田東洋館に於いて開く、この日は郵政省より中村府金課長が来賓として出席する。

湯本町婦人會の總會は十八日午前十一時より公民館に開き新会長に深澤みづを推選決定、副会長に澤田ヨシ、長谷川操氏を各々決定した。

なお分會長の選出は各單位に行う。

北郷君らに町長賞

勿來青年學級閉講式
勿來町では十七日午後六時より公民館大ホールに於いて青年學級の閉講式を挙行した。

この日青木町長、石井教育長、各講師等約二十名が参列した。

受賞者次のとおり
▽教育委員賞
北郷ヤイ子、園部ヨシ子、植田ヤイ子、安齋豊次、小野壽、日渡保、私木源一、青木目男、秋本建造
▽努力賞
植田郵便局事務官吉田信

災害復舊工事の入札
植田土木監所では十八日午前十時より災害復舊の諸工事について入札を行つた。各社に各々落札した。

岩間海岸延長一〇〇米の堤防工事、二三〇円で落

江栗排水工事

湯本町江栗地の排水路改修(延長一四〇米)の改修工事は九万円で同町江栗高橋組高橋良男氏に落札した。

竣工は年度内の予定

營農資第二

次豫算決る
冷害対策營農資金第二次割当小名浜町は總額一六七〇〇〇〇圓として八七〇〇〇〇圓と決定した。

營農資金は年六分五厘で五年返還、二年返還の二種類があり、このうち三分は特別交付金をもつて利子補給される事になっている。

SD講習會

小名浜町スクエアアマン研究会では二十一日午後六時から小名浜公民館ホールでスクエアアマン講習會を開く。

昭和三十九年三月十九日
石城郡小名浜町横町三九
親戚總代 目小澤守長 一寿

ガスタンク

から轉落死
十八日午後三時三十分頃日本水素小名浜工場内二万ホルム建設現場で足場取付作業中の石川鐵工K小名浜出張所K小名浜町宮下町(責任者白井三郎氏)の鉄釘打石匠吉(四九)さんは誤つて七米の高所より転落、頭蓋骨折で瀕死の重傷を負い水素診療室に搬送されたが同日午後四時三十分死亡した。

白石さんは二十八日二月入社、去る二月四日宮下町の飯場に家族を双葉郡久之浜に隣し單身出稼ぎに来ていたもので仕事熱心な眞面目な人だった。

社会系は候補難

大井川縣議の後、にあらうとそんな魂膽は授会が二市長選をに非出馬をしない」と氏は現在のところ明言している。会田が歌目なら輸入候補との線をかなり強く打出す幹部等もあるが、結論として同クラブを母体とした革新系の空気をとにかく「誰かを出馬させる」と云う方向に流れていることは事實だ。この空気を早急にとめるため二十一日夜同会の幹部會が某所でひらかれ、種々協議されるが恐らく何れかの結論を出すこと云々の出せないのが目下の動きで二十五日の總會に望む幹部會の足並は揃はないだろうとみて一部には候補者難に果れ一戦は挑めないとの方もある。推せんされたのが現小名浜町社民クラブ会長会田亮氏あたりだが、「如何知れない。」(森下記)

純毛服地ご注文洋服専門
紳士服 婦人服
最新スタイルと良心的な仕立
きつと皆様のにお気に召す
大井洋服店
福島縣小名浜町T630茨城縣太田町T531
平マーケット サービス券
50圓 (全額利用可) (現金30圓以上御買上り50圓として通用)
皆様の店 平マーケット 電.297

うまい醬油 うまい味噌
ホシ友醬油株式會社 社長 星友太郎
婦人子供服 専門店
小名浜町上横町(ポレストナリ) 箱崎洋服店
電話呼五〇八

外科 松田病院
レントゲン科
小名浜町駅前大通り
電話四三四番

平マーケット
新入學の御祝には御子様の一生の思い出になります
最上のでランドセルを
總牛皮製一九五〇圓
皆様の店 平マーケット

松村病院
看護婦 募集
電話一〇七(受付・事務) 電話一六九六(第二病室) 電話一八九二(給食部)

整形外科	院長 松村成
外科	主任 田邊勇
内科	主任 岸本隆夫
性病科	主任 岡崎仁
呼吸器科	主任 小野実
婦人科	主任 松村政次
歯科	主任 吉田吉之助

レントゲン放射線科主任新妻春治
藥局 藥劑師 香山ナヨ

月拂即時家が建ちます
一年満期は半金拂込で即時着工
後の半金は月拂い...
一日早く申込み一日早く建ちます
○二年前満期で四ヶ月目に着工
○四年前満期で八ヶ月目に着工
○五年前満期で一ヶ月前に着工
○六年前満期で三ヶ月前に着工
○七年前満期で六ヶ月前に着工
○八年前満期で九ヶ月前に着工
○九年前満期で十二ヶ月前に着工
○十年満期で十五ヶ月前に着工
○十一年前満期で十八ヶ月前に着工
○十二年前満期で二十ヶ月前に着工
○十三年前満期で二十ヶ月前に着工
○十四年前満期で二十ヶ月前に着工
○十五年前満期で二十ヶ月前に着工
東北常磐地帯専属工務人
小名浜町下町一八 古港一九二
申込所 小野幸次郎

月拂て家が建つ 建築の福音!!
家が月拂で抽籤も入札も無く早く申込めば早く建つ東北一の月賦建築住宅は基礎より店舗工場増築改修修理一切大小に拘わらず貸地相談にも御利用下さい
御結婚にはぜひ月賦借付御持参で!!
御申込み次第営業案内御送り致します
建設大臣登録(ロ)第九六二号
日本建物株式會社
平 營業所
所長 大 樂 弘
〒平市町三電五八〇
小名浜町上町五五
専属工事人連絡所
小名浜町上町五五
株式会社小名浜土木
一級建築士 坂本二郎